

中原与茂九郎先生の略歴と主要著作目録*

略 歴

- 大正 8 年 3 月 岡山県立岡山中学校（現・同県立朝日高等学校前身）卒業
- 〃 11 年 3 月 第六高等学校（文科）卒業
- 〃 11 年 4 月 京都帝国大学文学部史学科入学
- 〃 14 年 3 月 同上卒業
- 〃 〃 〃 京都帝国大学文学部副手を嘱託さる
- 〃 15 年 3 月 広島高等学校教授に任ぜらる
- 昭和 3 年 12 月^{*}、 アッシリオロジー研究のため文部省留学生としてオックスフォード大
- 〃 5 年 1 月^{*}、 学に留学^{**}
- 〃 24 年 8 月 広島大学教授に任ぜらる
- 〃 26 年 4 月 京都大学教授に任ぜらる
- 〃 38 年 4 月 同上停年退官さる（4 月 16 日）
- 現 在 立命館大学文学部（大学院担当）教授

* 漢字はできるだけ当用漢字に改めた。

** この留学は、大正 6 年 10～11 月京都帝国大学文科大学に来講されたことのある A. H. セイス教授と、浜田耕作教授との推薦によった。セイス教授の来講については中原与茂九郎教授の手記「西アジア学の発祥」（『西南アジア研究』No. 1, pp. 5-6）参照。

著 書

(単行本, 分担執筆, 項目執筆を含む)

- The Sumerian Tablets in the Imperial University of Kyoto, *Memoirs of the Research Department of The Toyo-Bunko*, No. 3. Toyo-Bunko, Tokyo 1928 昭和3年
- 西南亜細亜の文化 『東洋史潮』(岩波講座) 昭和4年
- 古代東方時代 (pp. 2—51), ヘレニズム時代 (pp. 52—79) 『京大東洋史 5: 西アジア・インド史』(創元社) 昭和28年
- 古代オリエント (pp. 96—116) 『地理と世界の歴史 8: アジア篇下』(雄渾社) 昭和32年
- 発掘と解読の物語 (pp. 294—330), 歴史はシュメールにはじまる (pp. 331—367), 諸民族の交響とペルシア帝国の出現 (pp. 417—455) 『世界の歴史』1 (中央公論社) 昭和35年
- アッカド王朝, アッシリア王国ほか 『アジア歴史事典』(平凡社) 昭和34~38年

論 文

- 岡山時代の熊沢蕃山 『六稜科学』14 (第六高等学校科学研究会) 大正10年
- バビロニアに於ける世界統治 Weltimperium 思想に就て 『歴史と地理』16/5 大正14年
- フェニキア語(又はカナン語)の Alphabet の起源及びモーゼの Inscription とに就いて 『史林』11/1 大正15年
- バビロニア宗教に於ける一神教的傾向に就て 『歴史と地理』18/2 大正15年
- ウルク国王シインガシドの物価碑文に就いて 『歴史と地理』19/4 昭和2年
- 古代バビロニア人の男女関係に就いて 『民族』2/4 昭和2年
- 京都帝國大学所蔵ウルク国王シインガシドの粘土板碑文の解読と解説 『史林』12/3 昭和2年
- 京大所蔵楔形粘土板文書の解読——ニップウルに於ける家畜市場の記録 『歴史と地理』21/2 昭和3年
- ラガシュ国のパテシ, ルガルアンダの撰政妃の楔形泥章 『史学研究』3/2 昭和6年

- 古代に於ける君主崇拜の意義——帝国主義的イデオロギーとして 『史林』
17/2 昭和7年
- ギルガミシュ史詩に現はれたるバビロニア人の人生哲学 『歴史と地理』29/4
昭和7年
- バビロニアのロゴス観（ヘラクレイトスのロゴス観の原型）『哲学研究』193 昭和7年
- バビロニア人の歴史観 『史学雑誌』43/8 昭和7年
- ハンムラビ時代に於ける共同経営体制としての tappûtum に就いて
『史林』18/2 昭和8年
- 古代バビロニアの都市国家君主の称号パテシの起源に就いて 『史学研究』
4/3 昭和8年
- シュメール法に就いて 『紀元二千六百年記念史学論文集』 昭和15年
- 古代バビロニアに於ける運河開鑿工事に就いて 『京都帝国大学西洋史説苑』 昭和16年
- 楔形文字法の最古法源資料としての Ditilla 泥章の研究 『史林』27/3 昭和17年
- シュメール都市国家時代の神殿領の研究 『史学雑誌』53/9 昭和17年
- シュメール都市国家時代の家族について——血族と称呼との考察——
『史林』33/2 昭和25年
- シュメール・アッカド社会に於ける均分制相続と長子特分 (Primo-geniture)
に就いて 『西洋文化史論大系』1（東京） 昭和25年
- プレ・サルゴン時代の社会経済史料 (1)~(6) 『古代学』7/2 ; 8/1, 3, 4 ;
9/4 ; 10/1 昭和33~36年
- 売買契約泥章から窺た初期王朝期~アッカド王朝期の土地所有形態
『史林』42/3 昭和34年
- 「古代シュメールの社会経済の諸問題」の報告概要 『日本オリエント学会
月報』2/11・12 昭和34年
- アガデ（アッカド）の gur について 『西南アジア研究』5 昭和35年
- シュメール土地制度における託管地について——折半小作と開拓地——
『西洋史学』50 昭和36年
- 雑記帳——奴隷の解放・売買その他 『人文』7（京都大学教養部） 昭和36年
- シュメール土地制度について——初期王朝時代まで—— 『人文』9（京都
大学教養部） 昭和38年
- シュメール都市国家と「国土」の人口について 『西南アジア研究』10 昭和38年